

〈参考資料〉

1. 地域コミュニティ組織の概要

組 織	概 要
あいご会	地域ぐるみで子どもを育てる気風づくりを目指し、地域の特性をいかした十五夜、鬼火焚き、歩こう会などの体験活動等に取組んでいます。
鹿児島市衛生組織連合会	公衆衛生・生活環境の改善向上のため、不法投棄問題、ごみステーション美化、まち美化推進、地球温暖化対策に取り組んでいます。
校区公民館運営審議会	地域住民の生涯学習の推進を行い、町内会やあいご会、PTA、婦人会等の関係機関・団体への支援と連絡調整を図って、青少年の健全育成に伴う地域課題を解決するための校区コミュニティ活動を進めています。
校区社会福祉協議会	校区内の様々な福祉の課題を少しでもよい方向に導くために、ふれあい子育てサロン、在宅介護講習会、地域の見守り活動、ふれあい会食、広報紙の発行等を行っています。
自主防災組織	地域の防災意識の高揚を図り、自然災害に備えるため、避難訓練、消火訓練などの防災訓練を個々に実施しています。
地域安心安全ネットワーク会議	小学校区ごとに、防犯パトロール隊、スクールガード隊など地域の安心安全確保のために活動している団体等の相互の連携や情報の共有を図っています。
地域まちづくりワークショップ	地域の住民が主体的に、まちづくりについて語り合う場として発足し、地域課題を解決するための「地域プラン」を作成・実践しています。
町内会	地域におけるもっとも基礎的な住民自治組織で、住民の親睦交流や住み良い地域づくりなどの活動を実施しています。
防犯パトロール隊	地域の安全を行政との協働により住民が主導的に守るため、犯罪等の発生地域や少年等のたまり場となりやすい公園・空き地等のパトロール、児童等の登下校時の見守り活動と声かけなどを行っています。
老人クラブ	概ね60歳以上の高齢者が、地域単位で自らの生きがいを高め、健康づくりを進める活動や、ボランティア活動等を行っています。
NPO	Non Profit Organizationの略で、法人化したNPO法人だけでなく、ボランティア団体や町内会など「自主、自立的に非営利の活動を行う市民グループ」の総称です。

(50音順)

2. 用語集

コーディネーター

各部分の調整をはかって全体がうまくいくように整える人。

多様な知識と経験を背景に、特定テーマについて関係者の指導や関係者間の調整を行う人のことをさす。

コミュニティ

地域社会、共同体のこと。

国民生活審議会調査部会コミュニティ問題小委員会報告『コミュニティ—生活の場における人間性の回復』(1969年)では、「生活の場において、市民としての自主性と責任を自覚した個人および家庭を構成主体として、地域性と各種共通目標をもった、開放的でしかも構成員相互に信頼感のある集団」としている。

自助・共助・公助

自助とは、自分や家庭でできることは自分や家庭で対応すること。

共助（互助ともいう）とは、自助では対応できないことを、自分の周りの人たちと協力して臨むことで対応すること。

公助とは、自助や共助でも対応できないことを行政が対応すること。

団塊の世代

昭和22～24年までの第1次ベビーブームに生まれた世代のこと。

平成19～21年にかけて、定年退職期を迎えているため、経済や財政など地域社会に与える影響は大きく、地域の担い手としての期待も高い。

地域コミュニティ

日常生活を支え合う身近な地域社会のこと。

わが国では、古くから地域単位で共同生活が営まれ、明治から昭和初期にかけて、自然集落としての地域コミュニティは概ね現在の町内会程度の規模で自発的にまとまり活動してきた。

地域コミュニティ組織

地域コミュニティにおいて、多様な地域活動を行う多様な組織のこと。

鹿児島市では、町内会のほか、校区公民館運営審議会や校区社会福祉協議会、あいご会、鹿児島市衛生組織連合会などの地域活動団体のことをさす。

地域コミュニティ連携組織

地域コミュニティ組織間の有機的な連携を強化し、既存のコミュニティ組織が集う団体のこと。

総務省の提唱する「地域協働体(地域における公共サービスの提供を総合的、包括的にマネジメントする組織)」をモデルとする。

地域主体性

防犯・防火、青少年健全育成、交通安全など、地域の様々な問題や課題を共同で解決するため、地域住民が、自ら考え、自ら行動する姿勢のこと。

地域力

地域力とは、地域の諸課題を地域住民が共同して解決していく力のこと。

災害時をはじめ、地域の様々な問題を共同作業によって解決し、少しでも住み良い地域社会をつくりだそうという住民の主体性に裏打ちされた意識の結集。

ビジョン

将来の構想、展望のこと。また、将来を見通す力。洞察力。

結い

ももとは、農村における農作業や生活の維持のために行う地域の共同作業のこと。

対等と共助（相互扶助）の精神のもとで、地域で労働力を出し合って、地域における産業活動や生活の維持に向けて共同作業を行うことをさす。

(50音順)